

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	砂防設備等の点検・維持管理検討経費		担当部局庁	水管理・国土保全局砂防部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H26/H27		担当課室	保全課		課長 渡 正昭	
会計区分	一般会計		政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 12 水害・土砂災害の防止・減災を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	砂防法(第5条、第6条)、地すべり等防止法(第7条、第10条)、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律(第9条、第14条)		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	これまで整備されてきた砂防設備、地すべり防止施設および急傾斜地崩壊防止施設(以下「砂防設備等」という)が順次老朽化していく中、ライフサイクルコストを是正しつつ、安全の確保等その本来の役割を果たし続けるため、砂防設備等の現状を適切に把握し、計画的かつ効率的な設備の維持管理・更新を可能なものとするを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	砂防設備等は全国各地に多数存在し、設備の種類や構造も様々であるため、各現場毎に画一的な点検項目を元に見視点検により設備の異常を把握し、必要に応じて詳細な点検や対策を行ってきたが、近年、短時間の集中豪雨の増加や砂防設備等の老朽化等により、様々な形態の損傷が増えてきており、さらに新たに設備を整備していく一方で、老朽化した設備は着実に増えていくことから、砂防設備等の現状を適切に把握し、計画的かつ効率的に設備の維持管理・更新を行う必要がある。 適切に設備の維持管理を行うため、「設備定期点検(目視点検)による設備評価指標や、詳細点検や対策実施にかかる判断指標」について、全国の都道府県の整備状況を包括的に把握している国が率先して検討を行い、「砂防設備等の点検ガイドライン(仮称)」として、具体的な基準や指標をとりまとめた全国に周知する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					5
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	砂防設備等の現状を適切に把握し、計画的かつ効率的な維持管理を可能とするための点検方法等を取りまとめた「砂防設備等の点検ガイドライン(案)」を作成するものであり、定量的な成果目標及び成果実績を定めて実施する性質のものではない。		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	「砂防設備等の点検ガイドライン(案)」作成のための検討の実施		活動実績 (当初見込み)	-	( )	( )	( )
単位当たりコスト			算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	-	0.2				
	水害・土砂災害対策費	-	4.8				
計	-	5					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	砂防設備等は全国各地に多数存在し、個々の状況が異なる。各自治体が砂防設備等の点検について各々検討をするより、直轄で整備した設備及び全国の都道府県の整備状況を包括的に把握している国が主体的に検討し、ガイドラインを示すことにより、砂防設備等の適正な点検を可能なものとする。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	—		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	各自治体がそれぞれ点検・維持管理方法を検討するよりも、全国の砂防設備等の様々な形態の損傷や実態、点検・維持管理の具体的な実施状況や手法に関する幅広い知見を有する国が率先して検討を行い、砂防設備等の様々な状態に的確に対応する点検・維持管理方法を示す方が、全国の数多くの砂防設備等に対する計画的かつ効率的な維持管理・更新の着実な実施に資することから、国費で検討を行うことが妥当である。					
	外部有識者の所見					
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
調査結果を実際の事業に活用するなど、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省  
5百万円

〔砂防設備等の点検・維持管理の検討に関する企画・立案・情報の収集等〕



民間企業等  
4.8百万円

国土交通省  
職員旅費  
0.2百万円

〔「砂防設備等の点検ガイドライン(仮称)」の作成に向けた調査・検討の実施等〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					